

平成 30 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------------|--|----------------|-------------|
| 事業所番号 | 1471500320 | 事業の開始年月日 | 平成16年2月1日 |
| | | 指定年月日 | 平成28年2月1日 |
| 法人名 | 株式会社ユニマツト リタイアメント・コミュニティ | | |
| 事業所名 | 湯河原温泉ケアセンター そよ風 | | |
| 所在地 | (〒259-0314) 神奈川県足柄下郡湯河原宮上字ヨシヤハラ771-24 | | |
| サービス種別 定員等 | 認知症対応型共同生活介護 | 定員計 | 27名 |
| | | ユニット数 | 3ユニット |
| 自己評価作成日 | 平成30年11月10日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成30年12月26日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれた湯河原温泉郷に位置し、源泉かけ流しのお風呂に入り、穏やかな気持ちで毎日を過ごして頂ける。周辺には竹林があり、癒される施設として、地域に貢献し根付いている。医療・看護と連携しご家族様からも安心して頂ける施設を運営している。

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|---------------|-------------|
| 評価機関名 | ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部 | | |
| 所在地 | 神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207 | | |
| 訪問調査日 | 平成30年12月6日 | 評価機関 評価決定日 | 平成30年12月25日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】

◇ 理念とスローガンに基づく利用者本位のケア

各ユニットの理念をベースに、年度毎にスローガンを掲げて、職員は利用者や家族への対応、地域活動に熱心に取り組んでいる。「食事・水分・排泄と運動」の4項目を重点に、利用者本位のケアを実践している。

◇ 外出・行事・ボランティア活動の充実

事業所周辺の自然を活かし、散歩を兼ねて公園の梅や桜の見物、芦ノ湖、小田原フラワーガーデン、江の島水族館に遠出し、また敷地内では、外気浴やタケノコ採り、バーベキュー、納涼祭等などの行事の他、ボランティアによる琴・三味線等の多彩なイベントを利用者は楽しんでいる。

◇ 職員と利用者・家族の一体感のある事業所運営

職員の離職が少なくベテランが多いため、利用者・家族の職員への信頼が厚く、一体感が生まれている。

【事業所の工夫点】

◇ 天然温泉のお風呂の活用

事業所のお風呂は、源泉かけ流しであり、利用者は週3回を基本に、希望に応じて入浴し、日々の疲れを癒し穏やかに過ごしている。

◇ 介護ロボットの導入

会話や夜間の見守りが出来る介護ロボットペッパー君を導入し、各ユニットに週2日、玄関に1日巡回させて、利用者の気分転換を図っている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|---------|---------|
| I 理念に基づく運営 | 1 ~ 14 | 1 ~ 7 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ~ 22 | 8 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ~ 35 | 9 ~ 13 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ~ 55 | 14 ~ 20 |
| V アウトカム項目 | 56 ~ 68 | |

| | |
|-------|---------|
| 事業所名 | 湯河原温泉CC |
| ユニット名 | 花 |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念やスローガンは事務所や各ユニット毎に掲示しており、常に意識付けを出来るようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者本位」「個別対応」を共通点とした理念を基に、毎年ユニット毎にスローガンを作成している。理念、スローガン共に、スタッフ室に掲示している。 ・具体的には[スキル]「笑顔」を念頭に、個別のニーズに対応をし実践につなげている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 災害時の緊急避難場所として湯河原町と協定を継続し、備蓄品も準備している。地域の自治会での活動も参加し、祭りの際の山車の受け入れに協力したり、納涼祭には老人会の方にも参加を呼び掛けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や運営推進会議委員・町職員から、地域情報を得ている。 ・傾聴、琴、三味線、高校生の沖縄民謡など多くのボランティアが訪れて、利用者とは交流している。 ・お祭りで山車が事業所に立ち寄り、一次緊急避難場所に指定されるなど、地元とのつながりが深い。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域運営推進会議を二か月に一度行い、ご家族・地域代表・行政職員の方を交えて意見交換をしながら認知症の理解・理念の浸透を図っている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、ご利用者の現状やサービスの現状について報告し、ご家族・地域の方々・行政との意見交換を行いサービスの向上に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・会議は2か月に1回開催し、利用者、家族代表、地域代表、民生委員、町介護課職員をメンバーとし、活発に運営されている。 ・事業所の運営状況報告、意見交換後、地域行事などの情報を確認している。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 行政の担当者の方とは、ご利用者の現状の変化などを通じて、随時、報告や相談を行っており、協力関係を続けていける様に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町介護課との連携は密で、運営推進会議で意見交換し、相談内容を「行政との打ち合わせ記録」に整理している。 ・町の3グループホーム間との連絡会があり、事業所が場所を提供し、勉強会や情報交換をしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束については緊急でやむを得ない条件下でない限り行わない。実施にあたっては医師と御家族の同意を得ると共に、早期に拘束を終了出来る様、随時検討を行い、長期に及ぶ事がないようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月から身体拘束適正化委員会が発足し、身体拘束しない考え方・実例を学び、ケアに活かしている。 ・安全面と防犯上から家族の了解を得て、玄関は施錠している。 ・ユニット会議で日頃のケアを振り返り、不適切な言動を正している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止委員会を設置し、定期的に発生の予防や検討を務めている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護については、認知症介護者研修やケアマネジャー研修等で各自が学習し、全職員が制度を理解できるように、資料を回覧するようにしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居に際し、料金や入退居の条件、終末期の処置、個人情報の取り扱い、受診や往診の対応など、利用者の方が納得していただけるよう説明を行い、入居後も苦情や質問についてその都度、丁寧な対応を心がけている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 利用者の方の変化については必ず御家族へ報告させていただきご意見を伺っている。また、新しい計画作成した際も、ご家族の意見を反映するように努めている。また、運営推進会議を2か月おきに開催し、頂いた意見は全体会議等で職員に周知している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族の来訪時に利用者の様子を伝え、要望の有無を確認している。 ・家族の要望があり、傾聴ボランティアの回数を増やしている。 ・毎月家族に送る「そよ風便り」で利用者の様子を伝えている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 代表者・管理者・職員は常に情報交換を行い、月に一度はユニット会議及び全体会議を開催して意見交換を行っている。 | ・ホーム長や管理者は、会議で職員の意見を聞き、日常でも気楽に話せる環境作りに努めている。 ・夜中にトイレ頻度が多い車いすの利用者の動線に沿って手摺りを付け、事故防止に繋げた事例がある。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 欠員が出た際には速やかに人員の補充を行い、残業の発生を出来る限り抑える様にしている。契約更新の際には面談を行い要望や意見を汲み取り働きやすい環境整備に努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 社内外の研修会の受講参加を働きかけ、レベル向上を図っている。終了後は報告書を作成し、意見交換を行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 地域ケア会議・他施設との協議会に積極的に参加し、情報交換を行いながら、サービスの向上に取り組んでいる。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご利用前の面談において、現在の不安について伺い、解消や軽減に向けて傾聴し対応している。また、職員全体で情報共有し良好な関係作りに努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前の面談においては、ご本人及びご家族の意見を伺い、不安の解消や軽減に繋がるよう対応し、ご希望ご要望にがだしやすいような関係作りに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人やご家族から受けた相談及び要望から問題点や必要事項を職員同士で話し合った上で、新しい生活にスムーズに移行出来る様に心掛けています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご本人の思考やペースを見極め、他の利用者の方々と関係を深められるように支援して行く。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 御家族の面会時には近々のご様子をお伝えし、ご家族だけの時間を過ごして頂ける様なるべく居室には訪問しない様配慮している。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 御家族や友人との外出・面会等で今までの生活を大切に出来る様、関係者との絆を繋げる様に努めている。 | ・知人の訪問が年々減っており、想い出の再現を期して、行事や傾聴ボランティアの回数を増やしている。 ・家族の協力を得て外食や墓参りに出掛けたり、知人の車でファミリーレストランに行く利用者もいる。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 気の合う利用者の方と会話しやすいように席の配置を気遣っている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後もいつでも相談して頂ける様に声掛けを行い、支援できるような体制作りを努めている。 | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々の暮らしの中で、ご利用者様の意見や要望を取り入れながらより良い支援が出来る様努めている。又、困難と思えた場合にはユニット会議やご家族の意見も伺いながら最善の方法を検討している。 | ・利用者生活歴のほか、思いや意向を日々の会話や表情から把握し、個人別に整理し、職員間で共有してケアに反映している。 ・寡黙な利用者には、入浴や夜間時にゆっくり聞き、思いや意向を把握している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | これまでのご利用者様の生活歴を入居前にご家族に伺い、過ごしやすい環境づくりにて、サービス利用の経過等の把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の生活において個別の記録を行う事で、その方の状態やパターンに合わせて対応を行うよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 計画作成時は本人・ご家族の意向を基にして現状の課題を組み合わせで行う。また、担当者会議を経て最終的な計画を作成する。 | ・利用者や家族の意向、医師・看護師の意見、モニタリング結果を基に、サービス担当者会議で全職員が参加し、介護計画を作成している。 ・介護計画は6か月ごとに見直し、利用者の状況により適宜見直している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子は個別記録に記入するとともに、連絡事項は申し送りノートに記入し情報の共有に努め、ケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 受診や送迎対応も行なっている。また、病院受診から在宅医療（訪問診療）への移行も行い、サービスの多機能化に取り組んでいる。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域のボランティアの受け入れを定期的に行っている。（傾聴・オカリナ・落語・舞踊等）また、老人会の行事や自治会への参加を行い、地域との連携を図りながら、暮らしを楽しんで頂ける様支援している。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 受診はかかりつけ医との関係を尊重しながら、状態に応じて専門医の受診を行い、体調の維持管理に努めている。また、訪問診療への移行を勧め、常に適切な医療を受けられるように支援している。 | ・利用者の数々が、入所前のかかりつけ医にて、受診している。 ・協力医が月2回往診し、看護師は毎週健康管理で来訪している。 ・眼科・整形外科医などへの受診は、家族の要望で職員が付き添うことがある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護師には毎週、利用者の状況報告を行い、処置を依頼したり、主治医への伝達事項のアドバイスをいただいている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院のソーシャルワーカーとは常に連携を取っており、入退室時の情報交換や退院後の入居の相談や対応について話し合い関係づくりを行っている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご本人やご家族の意思を尊重できるよう、入居前などに確認を行い、医師・看護師・職員とご家族の間で意見の共有を図り連携している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に「重度化した場合の対応、看取り対応に関する指針」を説明し、同意書もらっている。 ・医師の診断で、重度化や看取りの診断が出た場合は、再度、家族から確認の同意をもらい、方針を共有して利用者の支援に当たっている。過去、看取りの経験がある。 | 家族の希望などで看取り支援のニーズが高まっており、事業所の重度化・看取りの指針理解、経験者の話しや看護師の指導を通じて、職員のケア方針と心構えについて研修することが期待されます。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 事故や急変対応については、分かりやすい案内を掲示し、マニュアルも事務所に配置して全職員に周知を図り、対応出来る様にしている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年に2回、地域の消防署と連携して訓練を行い、その際にアドバイスや指導をいただき参考にしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定を含めて、年2回避難訓練をしている。 ・地域と防災協定を結び、職員は地域の避難訓練に参加している。 ・備蓄は飲料水・食料の3日分と日常生活品をリスト表で管理し、賞味期限を定期的に確認している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者様の人格やプライバシーを侵す事のないように、言葉かけや対応に配慮しながらケアを行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員は「利用者の背後から声をかけない、上から目線にならないよう」に声掛けし、対応している。 ・個人情報に関する書類は、事務所の書庫に施錠管理している。職員は接遇やプライバシー保護に関する研修を受けケアに反映している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 食事やおやつメニューは利用者様の好みや体調を見ながら調節している。また、入浴については気分や体調を考慮して行い、衣類についてもご自身が好きな物を選んで頂き、自己決定出来るように働きかけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者様の好みに合わせ、テレビ番組やDVD・CDがいつでも視聴できるようにしている。また、1日の生活も出来る限り、個々のペースやリズムに合わせて配慮している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 2か月に一度の訪問理美容ではご自身の希望のヘアスタイルを美容師にお伝えして行っている。また、衣類については、ご家族の協力を得ながら購入している。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 誕生日には、本人の好物やリクエストに合わせてメニューを作っている。また、祝日や行事にちなんだメニューも提供している。食事の準備・後片づけは利用者様と職員で一緒に行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行事食や旬の食材を使い、彩り、盛り付け、バイキング風など、食事を楽しむ工夫をしている。 ・基本のメニューがあり、各ユニットの職員が食材、調理方法などをアレンジしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事の量・形状に注意し、3食ともしっかりと摂取出来るよう支援を行っている。水分は量を確認し過不足なく摂取出来るよう、個別にチェックしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後には歯磨きを行うように声掛けや誘導を行う。一人で出来ない方は介助を行っている。義歯については就寝前に消毒を行っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 各自の排泄状況を確認しながら、声掛けや誘導を行い、失敗を減らすよう心掛けている。オムツの方でも二名で介助してトイレでの排泄を促したり、リハビリパンツの方でも状況を見て布のパンツに戻すといった支援も行っている。 | ・水分・食事・運動・排泄状況を観察し、利用者毎の自立を支援している。 ・便通のない方に入浴時に、シャワーチェアに腰かけてもらい温めた状態で支援した結果、効果が上がり、布パンツに改善した例がある。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排便状況は毎日確認し、オリゴ糖の使用や、牛乳・ヨーグルト・バナナの摂取を行い、自力での排便がスムーズに行えるように支援している。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | ご利用者様の体調や気分、テレビ番組の状況などを見ながら、喜んで入浴して頂けるように、時間や湯の温度などを設定している。 | ・2日おきの入浴を基本にしているが、毎日入浴する利用者もいる。 ・源泉かけ流しの天然温泉を設備している。 ・利用者は、季節の菖蒲湯やゆず湯で気分転換をし、楽しんでいる。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中については、体調や疲労の度合いに合わせて休憩をとるよう促し、夜間は利用者様のペースに合わせて就寝を促したり、光や音の配慮を行っている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の説明書は個人別のファイルにし、用法・用量の確認が可能になっている。処方時には薬剤師と共に確認を行っている。配薬時や服薬時には二人の職員でチェックし、誤薬を防ぐようにしている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者様の参加可能な家事（掃除・食器拭き・洗濯物たたみ・調理）はすすんで参加していただき、また、歌番組・スポーツ番組・時代劇・を好きな時に観られるようにして、気分転換が出来るようにしている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 利用者様の体調や気分、天候等を確認しながら、できるだけ多くの利用者様に楽しんで出かけられるような支援を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は、外気浴や事業所の車で桜木公園や幕山公園・町立美術館などに外出・散歩している。 ・利用者の希望で職員が支援して外食やお茶に出掛けている。 ・家族の協力で墓参りや外食に出かける利用者もいる。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 金銭をご自身で使える事の大切さを考慮し、認知機能を検討の上、個別に対応している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 毎月「そよ風便り」にて、日々の生活や活動の様子をご家族にお伝えしている。また、ご家族や知人との電話のやりとりの支援をしている。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は清潔を心掛け、季節を感じて頂けるように装飾や生花を生けたりしている。また、温度や湿度管理に気を配り、照明や障子を活用するなどして、心地よい環境づくりに努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・リビングなどの共用空間に、クリスマスの飾りつけをし、季節感を出している。 ・職員が温湿度を管理し、清潔・安全に配慮し、ソファで寛げる場所を用意するなど、居心地よい空間になっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有空間では、テレビを見たり、皆様に歌を歌ったり、塗り絵をしたりと、個々のニーズに合わせて過ごして頂けるよう工夫している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自室にはご本人が昔から使われていたものや趣味の物をお持ちいただき、心地よく過ごして頂けるような工夫をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・クローゼット、カウンター、ベット、カーテン、照明、エアコンが設備され、馴染みの家具や家族写真を持ち込み、「持込み品一覧表」で管理している。清掃は職員が行い、清潔で居心地の良い居室になっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 一目で分かるようにトイレのマークを表示したり、風呂場には温泉の暖簾を掛けている。また、目の不自由な方にも分かりやすくご自身で行動して頂けるように触って分かる印を工夫するなど、自立した生活が送れるよう支援している | | |

| | |
|-------|---------|
| 事業所名 | 湯河原温泉CC |
| ユニット名 | 月 |

| V アウトカム項目 | | |
|-----------|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | <input type="radio"/> 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| | | |
|----|--|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | <input type="radio"/> 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 『ご利用者様の自由を尊重し、ありがたいの笑顔を頂ける介護を実践して行きます』左記の月ユニット独自の理念の下、スタッフ全員で実践して行きます。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 施設でのイベントに近隣住民の方々や老人会の方達に参加して頂き交流を図っています。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 認知症サポーター研修で得た知識と共に、日々のケアの内容も含め、運営推進会議を通して、行政職員・地域の代表者・ご家族などを通じて、認知症の方の理解を地域の方々に向けて発信している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 通年、2ヶ月に1度開催し、利用者様の近況報告や取組みを民生委員・家族代表・老人会・行政のスタッフの方達へ報告。ご意見等を頂き、サービス向上へフィードバックしています。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | ケアマネ連絡会、地域ケア会議及び同事業所との定期的な会合により、情報共有を図り、協力関係を構築している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないケアを基本とし、身体拘束廃止委員会を設置し、具体的行為をカンファレンスなどで理解し、取り組んでいる。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待防止法等の研修に参加、同研修内容を全体会議等で報告。合わせて回覧等で周知し、常に利用者宅や事業所内での虐待防止に留意している。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度に関する資料を設置。常時閲覧可能とし、合わせて権利擁護に関する研修等に参加し、全体会議で報告、また、報告書の形で各ユニットに回覧し周知に努めている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約の締結については、契約内容を十分に時間を掛けて細部までご説明し、お客様が不安なく、十二分に納得されて契約して頂ける様努めています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族の来説時には、必ず利用者様の健康状態を含め生活状況を報告し、ご意見やご要望を頂き、スタッフ・ユニット間で共有し、それらを運営に活かしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 通常の全体会議、ユニット会議だけではなく、日常の会話の中でも重要な内容を話している場合もあるので、その内容も職員で共有し、反映させている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 契約更新時の面接だけではなく、日々の職務中での会話、行動から意見や変化を読み取るようにする。風通しの良い職場環境を作っている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月の社内研修の実施と情報の共有により、外部研修で得た知識を共有する。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 他の事業者のとの交流を深め、地域特有の問題点などの情報交換に努める。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご利用者のニーズを可能な限り取り込み、サービスの提供に努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 不安な事や困っている事を十分に伺うようにしています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談の中から、ご本人、ご家族に必要な事からサービスが提供できるよう努めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 本人のペースに合わせて、暮らしやすいサービスを提供しています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族と情報交換を行い、ご本人と御家族を支えるような関係を続けて行くように努めている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの方や、ご友人がお見えになられた時も居室でゆっくりお話し出来る様配慮しています。又、外出もご本人のご希望に沿う形で協力体制を取っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 各利用者様の好を把握し席等を考慮し交流が苦手な方も孤立せず快適に過ごせます様心がけています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去された後も、町等でお見かけした時はお声掛けし、現在の近況等を無理の無い範囲でお聞きし、介護等のこまったことの相談もお受けするよう心懸けています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | お一人お一人の思いやご希望を把握しご本人本位のかんきょうが作れます様心懸けています。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 利用者様との日々の何気ない会話の中から、利用者様にとって大切な出来事等を知りえる様に努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の利用者様の過ごし方や、表情の変化には常に留意し心身状態が把握できる様努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアプラン作成に当たり、ご家族ご利用者さまのニーズを把握し、合わせて、サービス担当者会議を開催し職員からの忌憚のない意見を反映し、利用者様によりそうプランを作成しており、3か月毎に現在の状態をモニタリングしより良いプラン作成に活かしています。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子を、支援経過記録に細かく記入し、日勤者・夜勤者交代時に申し送りを細かくし情報共有に努めています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ユニット間での連携を密に取り、受診対応時等には送迎を行っている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域ボランティアの協力により定期的に受け入れております。又、敬老会主催行事荷重可能な限り参加しており、防災訓練時には消防隊よりの指導を受けています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 日々のバイタル測定で体調を把握し、医療機関受診時には日々の状況を正確に報告し、適切な指示を仰いでいます。又、処方薬の安全な服薬の為、介助時、トリプルチェックを実施し安全に服薬して頂いています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週に1回の訪問看護サービスを実施し、訪問時、利用者様の状態を正確に報告し、利用者様が安心して看護を受けられるよう努めています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ご家族が対応出来ないときは施設側で、入退院の送迎も含め、又、必要に応じて職員が病院との話し合いの場に出向く事も有ります。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご本人及びご家族のご意向を十分に尊重し、重度化する前にご家族、医療機関との連携を図って行きご利用者様にとって最良の支援体制を築いていきます。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 事務所内に緊急時のマニュアルを設置し、職員も緊急時冷静に適切な処置対応が出来る様、指導している。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 防災訓練は夜間想定を含め年2回実施し、非常食を3日文備蓄、定期的に賞味期限のチェックを行い災害時に確実に対応出来る様備えています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 常に利用者様と視線を合わせ、分かりやすく、若干大きめの声でお声掛けするよう努めています。又個人情報への扱いは厳重に行い情報の退出についてはご家族より同意書を頂いております。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 自立支援を基本に、利用者様の自己決定を尊重し、季節に合わせた更衣等を日々楽しんで頂ける様支援しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | そよ風を自宅での生活と同じような感覚で過ごして頂けます様、利用者様ペースに合わせて介助を行い、利用者様が自由に過ごして頂けます様支援しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 2ヶ月に1回の訪問理美容時には、美容師さんに、利用者様のご希望を伝え、カットしてもらっています。合わせて、パーマ・カラーリング等も実施しその方らしいおしゃれが出来る様支援しています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 毎日の食事を利用者様が楽しめるイベントと考え、調理を行っています。嚥下状態を確認し、状態に合わせた食事形態にしていますが、色合い等に気を配り、食事が楽しめる様工夫し、食器拭き等の軽度の家事作業が可能なお方には参加いただいております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食べる量、その方にあった食事形態味付け等心懸けています。又水分摂取に関しては、1日の摂取量が1500cc確保出来る様支援しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 口腔内の環境を適正なものとする為、毎食後の口腔ケアを実施し、義歯消毒は就寝前に毎日行っております。又、必要時は訪問歯科受診を行っています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 自立支援を基本に、ご利用者様の排泄リズムを把握し、お声掛けにての誘導を実施して、オムツ等の使用を減らしています。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排泄リズムの把握と一日の水分摂取量のチェックを実施、腹部温罨法・マッサージ等も試行し自然な排泄を心懸けています。又、緩下剤使用の利用者様についても、常に排便時の便性状の確認を行い安全な便通コントロールを行っています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 基本的に毎日の入浴が可能ですが、ご利用者様のご希望に合わせて入浴して頂いております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | ご利用者様一人お一人の夜間帯の睡眠パターンを把握し、日中の過ごし方についても、その方々により、アクティビティーを提案し、リズムの構築を目指して夜間帯の熟眠につなげています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬介助時のダブルチェック実施も含め、前日配薬時に薬剤の確認を日勤者・早番職員と行い、当日にも確認を行うトリプルチェックを行い誤薬事故を防止している。合わせて、常に薬剤の副反応には留意し、発現時には適切な処置が取れる様体制を整えている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人一人の生活歴や嗜好品、楽しみ事等を出来る限り把握し、その方の出来る事を生かして行き、単調な生活にならない様支援している。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 可能な限りご本人の希望に添えるような外出が出来ます様努めています。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご本人のご希望や、レベルに応じて、少額の管理が出来ます様お手伝いしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 毎月のそよ風での様子を写真を添えた（そよ風便り）として職員が手書きにこだわりお送りしています。又、ご家族や友人との電話や郵便のやり取り等も支援しています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に合わせた四季折々の装飾をご利用者様堵ともに飾り付け、居室内及び共有部分を清潔に保ち居心地の良い空間作りを心懸けています。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ご利用様がリラックスされ過ごせます様、心懸け気の合うご利用者様同士で過ごせる様リビングでのせきのはいちは適宜変更し工夫しています。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた家具等を持ち込まれ、馴染の物に囲まれ、安心して暮らせる様に配慮しています。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 自立支援を基本にご利用者様の出来る事を把握し軽度の家事作業等に参加して頂いています。 | | |

| | |
|-------|---------|
| 事業所名 | 湯河原温泉CC |
| ユニット名 | 星 |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|--|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | | 1, 毎日ある |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまにある |
| | | | 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31) | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|--|----------------|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1, ほぼ全ての家族と |
| | | | 2, 家族の2/3くらいと |
| | | | 3, 家族の1/3くらいと |
| | | | 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまに |
| | | | 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1, 大いに増えている |
| | | | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3, あまり増えていない |
| | | | 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3, 職員の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3, 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念やスローガンを各ユニットや事務所に提示してあり、いつでも確認し実践い繋げられる様努めている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 災害時の緊急避難場所として協定を結び、非常食の備蓄も行っている。また、自治会に参加し敬老会の方々や地域の方々との交流としてバーベキューや納涼祭を開催している。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域運営推進委員会を二か月に一度実施しご家族・行政・自治会、老人会代表の方々と意見交換を行いながら認知症の理解や支援の方法をお伝えしている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、ご利用者様の現状やサービスについて報告し、ご家族や地域の方々のご意見や要望を伺いサービスの向上に努めている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 行政の担当者の方にはご利用者様の状態に変化があった時以外にも定期的に状況報告をし、協力関係を築く様に取り組んでいる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束はご利用者様の安全を守る為、他に手段がない場合を除き行わない。拘束が必要な際には必ず土肥を得て行っている。又、出来る限り身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部研修により他施設の虐待の実態や現状を把握し、全体会議や研修報告にて周知にしている、又、虐待防止委員会を設置し予防や検証に努めている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護については、認知症実践者研修にて制度について学習する機会を得ている。また、全体会議での研修報告や報告書の回覧にて努めている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居時には料金や入居条件、終末期などをお客様が納得するまで細部に渡りご説明している。又、入居後苦情やご質問がある時は、いつでも真摯に対応する事をお約束させて頂く。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時や新しい計画書の提示など、ご家族に現状をお話しし、ご意見を伺う様にしている。又、ユニット会議や全体会議で職員に周知を行い、運営推進委員会にて外部にも報告している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月行われる全体会議にて、各ユニットでまとめられた意見を代表者が発表し情報の共有化が図られる事で運営の改善へと繋がっている。また、個別の意見にもその都度対応しているため、意見が反映されている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 契約更新時には面接にて適切な評価がなされている。個々の勤務状況もしっかり把握してくれている事で働きやすい環境となっている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 個々の力量を把握できており、それに合わせたスキルや知識の指導対応が行われている。研修を受ける機会も確保できている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | サービスの向上に繋げるために地域内での同業者や医療関係者との勉強会に参加できており、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前の面談にて、御本人の様々な思いに耳を傾けお話を伺う事でご本人の安心を確保し対応出来る様にし、信頼関係を築けるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 御本人・ご家族の様々な思いに耳を傾け接遇やマナーに注意しながら信頼関係が築ける様努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | お話を伺い情報をしっかり把握する事で必要としている支援を見極め対応して行ける様努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 本人のペースで安心して穏やかな生活が送れるよう、信頼関係を築き、サービスを提供している。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時や電話連絡の際、ご本人と御家族の窓口となり情報交換を密にし、ご本人とご家族の絆を大切にしながらご本人を支え合う関係作りを行っている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族・ご本人の了承を得た上で馴染みにしてきた大切な方々との面会や外出等を行ってこれまでの関係が途切れない支援に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | 9 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様の立場を尊重し支えあえる様な支援に努めている。日頃から利用者様相互の関係を把握し、それぞれの立場を尊重している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後も家族や近親者の方々より近況報告をして頂いています。従前より築いてきた関係性を保つことを行っている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 可能な限り利用者様の意向が実現実現できる様に努めていて、日頃から利用者とは話し合いをしている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | これまでの利用者様の生活歴を入居前に伺い、自然と新しい生活に移行出来る様努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日行うバイタルサインの測定など健康状態を把握し、日常会話などを通して個々の状況把握につとめている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご利用者様やご家族からの意向や医師、看護師のアドバイスなどを取り入れ多角的な計画作成に努めている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日常の様子や支援の実践などを記録し情報を共有して、それらを踏まえながら、これからのステップへ繋げている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 四季折々のドライブや受診対応等を含め柔軟なサービスを提供出来る様努めている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地元の傾聴ボランティアや高校生による琉球舞踊・各種音楽ボランティアの方々を通し地域と積極的の交流し充実した生活を送って頂ける様努めている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人やご家族の意向を大切に、ホームクリニックのDr.を中心に訪問看護師・訪問歯科医師等の指示によりご本人に適した支援やケアが出来る様に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護師には毎週利用者様の状況を報告し、処置を依頼したり、主治医への情報提供のアドバイスを頂いている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院の医療ソーシャルワーカーとは常に連携を取り、入退院時の相談について、しっかり連絡を取っており、多様な場合に備えて関係作りを行っている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご家族やご本人に意向にて、こちらで最後まで過ごしたい場合は、最大限に御意志を尊重し、医師・看護師・ご家族・スタッフとで連携を取りながら対応している。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 事故や緊急時の対応については分かりやすい案内を掲示し、マニュアルも事務所に配置し、全職員に周知を図り、対応出来る様にしている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年二回、消防署協力の下訓練を行い、災害時、適切に利用者を誘導できるように身に着けると共に地域との協力体制を築いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者様の日々の様子を見て気分を害されない様丁寧な対応を心掛けている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご本人の好みを聞いて可能な限り好き嫌いなど利用者様の希望に添える様にしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員側の業務や都合を優先するのではなく、ご利用様が自由に自分のペースで過ごせる様にしている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 二か月に一度訪問理容が来設し、毎週訪問看護師が爪などをカットし、可能な限り毎日入浴して頂いています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者様の体調を見て後片付けなどを手伝って頂いたり、食事は職員が手作りし、暖かく、季節にあった料理を提供している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 時間を決めて1日の水分を1500CCは摂って頂く様に努め、お食事も本人の状態に合わせて刻み・ミキサーなど工夫して取って頂いています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後に口腔ケアを促し介助が必要な方にも対応し、義歯の消毒は毎日行っており、訪問歯科の受診も行っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 個々の排泄パターンを把握し、タイミングを見て声掛けし、排泄の自立に向けて支援している。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排便リズムの把握、水分量のチェックなどを行い、便秘が見られた場合センナ茶や牛乳、オリゴ糖などで対応し、それでも排便が見られなかった時は主治医の指示に従い下剤を服用して頂いています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 自立している方にはご自分のペースで入浴して頂くために見守りだけにし、介助が必要な方も可能な限り毎日入浴して頂ける様心掛けています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 職員の都合ではなくご自分のペースで休んで頂けるように心掛けています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 主治医の指示に従い薬の服薬するタイミングは職員が責任を持って服薬して頂き、薬剤師とも連携し誤薬防止に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりの力を考慮し、日常の家事（洗濯物をたたむ・テーブルを拭く）等、無理なく行える事に役割をみつけて頂けるように、日々の支援を行っている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ご希望があれば、ご一緒に買い物に出かけたり、周辺の散歩に出かける支援を行っている。また、天気の良い日には少し遠出（江の島・箱根等）をしたりと外出支援に努めている。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご利用者様のご希望や力に応じて、ご家族と相談しながら、支援を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 月に一度、日々の生活のご様子や行事の様様を「そよ風便り」や「お星さま通信」でお知らせしている。また、ご家族や知人からの電話対応の支援をしている。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有の空間は常に清潔を保つよう心掛けています。また、快適かつ健康に過ごして頂ける様にエアコンの調節や湿度の管理等に気を配っています。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングでご利用様が過ごされている際は、音楽やDVDを視聴される等、快適に過ごして頂ける様心掛けています。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 出来るだけご自宅にいる様な空間を保てるようにご本人やご家族と相談し、居心地の良い居室環境の提供に努めています。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | トイレには分かりやすいように看板を付けており、居室には花柄等の表札を付けたりと、出来るだけ分かり易く自立した生活が送れるように工夫している。 | | |

目 標 達 成 計 画

事業所名 湯河原温泉ケアセンター
そよ風

作成日 平成30年12月25日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|-----------------------|---------------------|-------------------------------|------------|
| 1 | 3 | 看取りの事例が少ないため、職員の経験が浅い | 看取りの指針の理解と心がまえが出来る。 | 看取りについて、ドクターや看護師の指導、施設内研修を行う。 | 一年 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。